

公共下水道事業特別会計予算

当初予算額

16億4千804万5千円

水道事業会計予算

当初予算額

7億4千989万9千円

条例制定

駅前広場等管理条例の制定について

市が設置する駅前広場などの管理に関し必要な事項を定めるものです。

条例改正

社会福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

庁舎周辺整備事業の一環として行う、佐屋社会福祉会館の廃館・取り壊しによるものです。

質問

佐屋社会福祉会館は、旧杉野図書館として市民の寄付により、近隣市町村の中でも早くにつくられ、旧佐屋町の文化の発展に大きな影響があった。歴史的な建物であることから、郷土資料館として利用できないのか。

答弁

歴史的な建築物ということも十分理解をしているが、構造的には、47年が経過し、大規模改修には経費などのリスクもある。また、アスベストの構造的な問題がある。こうした総合的な観点と地区計画、周辺計画の中で、取り壊しという経過に至った。

土地開発基金条例及び愛西市土地取得特別会計条例の廃止について

土地開発基金は先行用地取得の必要性が薄れており、初期の役割を終えたものとして、また取得する事業に係る歳入歳出予算を経理する土地取得特別会計も併せて廃止するものです。

質問

これまで基金を利用した事例は。また、公共事業整備基金に組み込む理由は。

答弁

平成18年度に永和小学校及び北河田小学校の学用地の取得と、市役所、愛西市文化会館の駐車場用地の先行取得、22年度に愛西市学校給食センターの事業用地の代替地でこの基金を活用している。

基金目的がよく似ているため公共事業整備基金へ組み入れる。

第1回臨時会

平成26年度補正予算

一般会計補正予算

補正額 520万7千円
総額 248億4千720万7千円

国民健康保険特別会計補正予算

補正額 130万円
総額 77億1千647万8千円

支所整備基本計画(案)について市側から次のような説明がありました。

支所は、立田、八開、佐織地区の3か所に設置、最大配置職員数を24人とする。立田支所は既存庁舎(二期増築部分)を耐震、改修・修繕して活用し、八開支所は庁舎の一部を改修し支所及び水道課の事務室として活用。佐織支所は既存庁舎(二期増築部分)を改修及び一部増築をして活用する。

支所の業務開始時期は、統合庁舎全面供用開始時期と同じ平成28年3月で、工事については、支所機能を維持しながら平成29年3月までに完成し移転する。支所の概算事業費は解体工事、委託料を含めて総額約634百万円の見込みとする。

庁舎建設等調査特別委員会

支所整備基本計画(案) に対しての質疑では

Q 立田支所は、既存庁舎の全面的な解体から、既存庁舎を一部分活用して整備。八開支所は庁舎集会室の改修から、事務室の一部を改修して整備。佐織支所は、増築面積

の縮小だが、これまでの検討の経過は。

A 既存の公共施設を有効活用との意見があり、立田庁舎の2期増築部分は、昭和53年建築で、設計コンクリート強度及び建物評価を総合的に検討し、有効に活用できるとの判断。八開支所は、既存事務室を活用したほうが経済的にも安価に済む。佐織支所は、当初約200㎡を増築する計画だったが、既存部分を改修し、増築部分の面積を減らし、費用的にも削減した。

Q 費用的に増えたのは立田支所だけか。支所整備と災害対策の関係について、本庁舎が水にかかっている時の第2対策本部を設ける必要があるが、災害時の対応も含めた検討は。

A 概算事業費が増えたのは立田支所だけで、あとは前回よりも削減。立田支所の整備計画は2期増築部分の1千345㎡を残して耐震改修する形となり、面積が増えている。災害の関係については各施設の役割も考えた上で運用を図っていく。